

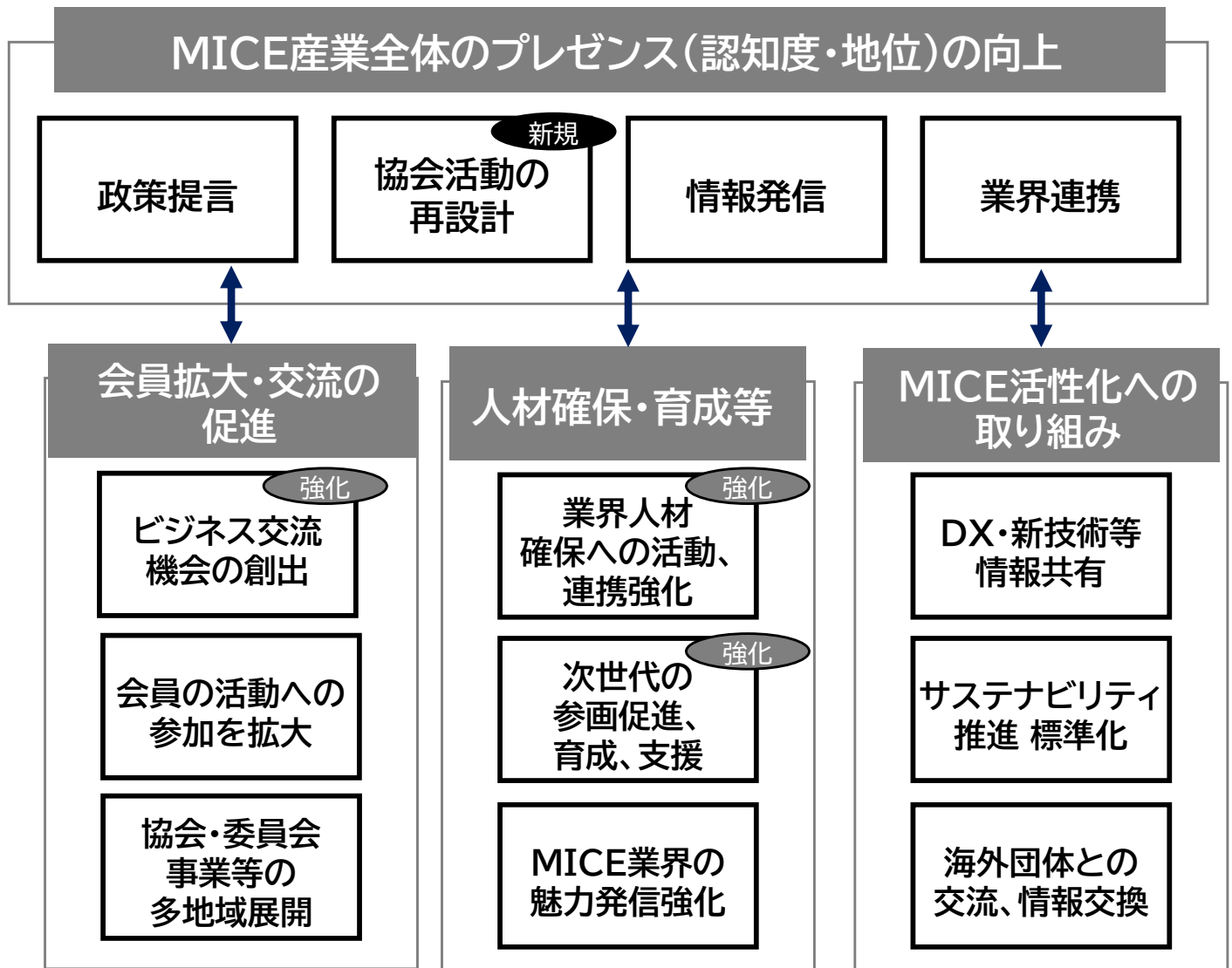
# JCMA2026年度活動方針

## 新たなフェーズに向け、MICEとJCMA活動の再設計

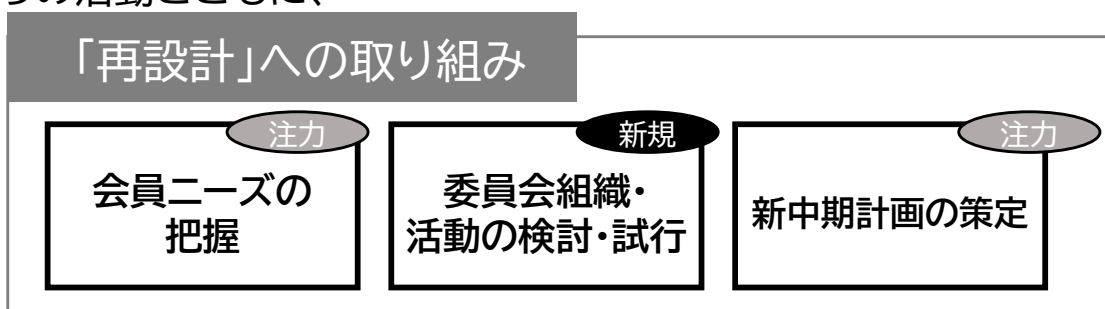
ビジネスの拡大、人材確保、エンゲージメントの向上等に向け、我々にとって重要課題である、『MICE産業のプレゼンス向上』のために、改めてMICEそのものの価値を認識し、その向上を図り、業界内外に効果的な発信を行なう必要がある。そしてそのためには、MICE人材のスキルアップや様々な情報交換や交流が欠かせない。

JCMA活動の意義は、まさにそこにあると考える。

10周年を終え、今期が最終年度となる中期計画の総括と次期計画の策定、そして委員会・支部活動等を通じ、改めてMICEと協会活動の再設計に取り組む。



これらの活動とともに、



## 活動方針の詳細

### MICE産業全体のプレゼンス(認知度・地位)の向上

- ①MICE振興に資する施策の新設・強化・継続へ向けた働きかけ
  - ・観光庁をはじめとした中央省庁、経済界、メディア等への政策提言の継続実施
  - ・自治体等によるMICE施策検討のための協議会、有識者会議、専門部会等へ積極的に参画し、業界の事業環境の整備・改善につながる発信を行なう
  - ・国際観光旅客税、自治体の宿泊税等新たな財源のMICEへの充当、規制緩和や人材育成・設備投資等を促進する補助金、各種助成制度の拡充等の実現に向けた活動を行なう
  
- ②協会活動の再設計を行なう
  - ・今年度は中期計画(2022～2026年度)の最終年度にあたるが、各計画の達成を目指す
  - ・次期中期計画策定にあたり、現計画の達成状況や協会事業、委員会・支部活動等を総括事業の統廃合、新設等を含め活動を再設計する
  
- ③情報発信の強化
  - ・MICEおよびMICE産業の認知度向上のため、MICEの価値や開催意義等の発信を強化
  - ・さらに、仕事としてのMICEの訴求も高める
  - ・業界内はもとより、社会へ向けた発信力の強化に注力
  
- ④MICE関連団体との連携による業界全体としての影響力の拡大
  - ・MICE関連団体との引き続きの連携により、MICE認知の拡大、課題への取り組みを促進
  - ・共同企画の実施や連名によるプレスリリース等、発信力増大を目指す
  - ・特に、業界認知度向上や、それに伴うリクルーティングに資する広報展開の強化

### 会員拡大・交流の促進

- ①ビジネス交流機会の創出
  - ・会員間のビジネス交流を創出・促進する事業を、協会活動の柱とすべく注力
  - ・新たな業種や事業者の参画も促し、ひいてはMICE全体の価値向上へとつなげる
  
- ②機会提供と働き掛け強化による会員の活動への参加を拡大
  - ・各種事業へ参加の少ない会員企業や会員の社員等の方々への参加勧奨を強化
  - ・特に初参加者の増加を目指す
  - ・協会活動の積極的な情報発信により、ビジネスチャンスを得られる業界団体であるとの認知を高める
  - ・協会・委員会・支部事業を活用した参加や入会勧奨活動を展開し、会員拡大につなげる
  
- ③協会・委員会・支部事業での多地域展開と地域関係者の巻き込み強化
  - ・協会・委員会事業において、首都圏以外での開催を積極的に検討
  - ・特別会員であるコンベンション・ビューロー等との連携により、地域色や地域との交流性の高いプログラムを推進
  - ・各地域での開催にあたっては、会員外(開催地のコンベンション・ビューロー等の賛助会員等)への訴求を高め、各地域からの会員拡大に努める

## 人材確保・育成等

### ①業界人材の確保への取り組みの具体化と業界連携の強化

- ・業界全体の課題である人材確保へ向け、リクルート全般につながる企画の検討を加速
- ・委員会・支部事業とも連携しつつ、横断的に人材確保に資する取り組みを推進
- ・MICE関連団体等によるリクルート関連事業とも連携
- ・各大学の関係学部やキャリアセンター、大学コンソーシアム、学生の観光・MICEに関する活動等、リクルート情報の発信につながるリレーションの構築、講座の実施等を目指す

### ②次世代人材の参画促進、育成、支援

- ・次世代人材に、協会・委員会・支部事業への参加や、委員会・支部活動への参画の働き掛け
- ・各事業における次世代人材の登用、活躍の場の創出(登壇や司会等の役割)
- ・デジタル、サステナビリティ、グローバル等の次世代人材に訴求するテーマで、提案力等スキルアップにつながる企画により、人材育成を強化
- ・MICE関連団体との連携も活用し、多様な職種、人材が接点を持ち、気づきを得られる企画を展開し、人材定着を図る

### ③MICE業界の魅力発信の強化

- ・SNS等メディアの効果的な活用、MICE業界の動向、MICEという仕事等の魅力を発信
- ・魅力発信にあたっては、他団体と積極的に協働し情報拡散に努める

## MICE活性化への取り組み

### ①DXや新技術の活用により、MICEの価値向上や会員の業務効率化を促進

- ・委員会・支部事業を通じ、会員が提供・活用するDXやAI等の新技術に関する情報を共有
- ・協会・委員会・支部事業では、努めて会員のDXテクノロジーや最新技術を導入し、業界全体として技術活用を促進するとともに、各事業を会員間のビジネスマッチングの場として有効活用

### ②さらなるサステナビリティ推進により標準化を目指す

- ・業界としてのサステナビリティに関する取り組み強化や深化により、標準化を促進
- ・事業やテーマコラム、会員の取り組みについてのWebサイト等により発信と情報共有に努める
- ・協会・委員会・支部事業において、「イベント・MICE関係者のための使いやすいサステナビリティガイドブック」の3項目以上の取り組みを実践
- ・ガイドブックは、MICE主催者となる企業・団体や経済団体等へ活用を働きかけ、業界全体としての積極的なサステナビリティ推進・標準化を訴求

### ③海外MOU団体との交流、情報交換

- ・MOUを締結する海外MICE団体を窓口に、海外視察や交流活動を実施
- ・視察やMOU団体との交流を通じ、海外におけるMICE政策や先進的な取り組み(MICEテクノロジーやサステナビリティ、レガシー効果等)について把握
- ・収集した情報は、政策提言の参考としても活用
- ・国際的な取り組みを業界内共有。導入可能な取り組みの実践により、国際競争力強化につなげる

## 協会活動の「再設計」への取り組み

### ①会員ニーズの把握

- ・協会活動に関する会員アンケート等を実施し、JCMAへの要望、意見等を徴収
- ・アンケートは、会員向けと所属する個人向けの2種類とする
- ・設問には、協会活動への認知度や参加実績のほか、委員会・支部活動についても意見や要望を盛り込む等、活動の総括に資する内容とする
- ・アンケート結果は、次期中期計画の策定や新たな指針への参考とし、より会員ニーズに配慮される活動を再設計する

### ②委員会・支部組織や活動についての検討・試行を行なう

- ・委員会・支部の組織体制や活動のあり方について検討
- ・協働事業の検討・実施等を通じ、連携方策を試行

### ③新たな中期計画(2027年度～2031年度)の策定を行なう

- ・全体の組織体制について改めて検討する
- ・次のJCMA活動について、MICEおよびMICE産業の振興、会員のビジネス発展等の観点から俯瞰的に再検討を行ない、計画化する